

【解説】

1 日本の米づくりをテーマにした問題

問一 B1 情報を獲得する 推論 具体・抽象

① 会話文に、米づくりによって人々が食料を安定して得ることができたことともなつて【資料1】をつくったことが書かれています。そのことから、【資料1】は米づくりに関係した建物であることがわかります。「かりとつたいねを保存する(ため)」などと書くことよいでしょう。【資料1】は高床(たかゆか)式)倉庫です。

② 【資料2】は穴に通したひもに手を通して使用するものです。米づくりの作業でこの道具を使うのは、稲刈りのときです。したがつて、「いねかり」「しゅうかく」などと書くことよいでしょう。【資料2】は石包丁とよばれる農耕具です。

問二 B1 情報を獲得する 推論 関係づけ 具体・抽象

「佐賀県にある吉野ケ里遺跡では、集落の周りに環濠(かたがは)といふほりをめぐらしていたり、矢じりがささつたままの人骨が発見されたりした」という部分から考えられる、(3)にふさわしい内容を書く問題です。集落の周りに環濠をめぐらすといふことは、他の集落から来た人々の侵入を防ぐ目的があつたと考えられます。また、矢じりとは、矢の先につけられ、獲物などをしとめるための鋭い石器です。これが人にささつていたといふことは、人を傷つけたり殺したりする目的があつたと考えられます。これらのことから、「他のくに(むら)との間で争いがおこつた」ことが考えられます。この問題では、①他のくにとの間で争いがあつたと同等の内容が書かれているかどうか

か、②①の内容に過不足がなく、表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問三 B1 情報を獲得する 再現する

④ 【資料3】を見ると、1965年の合計の作業時間は141・2時間で、2015年は23時間となつていました。したがつて、2015年の1965年に対する割合は $23 \div 141 \cdot 2 \approx 0 \cdot 1628$ より、 $16 \cdot 3$ (%)です。

⑥ 【資料3】を見ると、最も作業時間が短くなつた作業は1965年の47・9時間から2015年に3・0時間に減つた「いねかり・だっこく」です。2015年の1965年に対する割合は $3 \cdot 0 \div 47 \cdot 9 \approx 0 \cdot 0626$ より、 $6 \cdot 3$ (%)です。

問四 B1 情報を獲得する 関係づけ

問三の⑥より、「いねかり・だっこく」の「カ」だとわかります。

問五 B1 情報を獲得する 推論 関係づけ 具体・抽象

(7)にあてはまる内容は、すぐ後の「地域によっては耕地整理によつて小さく分けられていた水田を広くしたところもあります」という部分が手がかりになります。【資料3】を見ると、1965年から1985年にかけて、ほぼすべての作業時間が減少していますが、特に減少が大きかつたのは「田おこし」「田植え」「いねかり・だっこく」です。これらの作業に共通することとして、機械化によつて作業の効率が上がると考えられます。今日、「田おこし」にはトラクター、「田植え」に

は田植え機、そして「いねかり・だっこく」にはコンバインという農業機械が多く使用されています。農業機械の使用には面積が広い田を用意する必要がありますため、長い期間をかけて耕地整理が進められてきました。これらのことをふまえて「農業機械を使用するようになった」などと書くときよいでしょう。

問六

B2 情報を獲得する 推論 比較 関係づけ

病気に強くておいしい米をつくるための品種改良が、環境にやさしい農業につながる理由を考える問題です。たとえば、病気に強い品種ができれば害虫を駆除するための農薬をまく量を減らすことができると考えられます。また、農薬や化学肥料を使わず、有機農法によって米づくりをすれば、さらに環境にやさしい農業になると言えます。具体的な状況を思い浮かべてあなたの考えをまとめましょう。この問題では、①品種改良が環境にやさしい農業につながるという内容が書かれているかどうか、②①の内容に過不足がなく、表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問七

B1 情報を獲得する 再現する

⑧ **【資料4】**を見ると、農業就業人口は1990年の482万人から2018年の175万人まで減り続けているのである。(⑧)には「減り」があてはまります。

⑩ **【資料4】**から、各年の農業就業人口のうちの65歳以上の割合を求めると、1990年は約33・2%、2000年は約53・0%、2010年は約61・7%、2018年は約68・6%となります。したがって(⑩)には「増え」があてはまりません。

⑨ ⑩を解く時点で68・6%とわかります。

問八

B2 情報を獲得する 再現する 置き換え 具体・抽象

【資料5】を見ると、「作付面積」と「生産量」は1990年から2018年まで減少を続けています。一方で、生産量を作付面積で割った値は、1990年は約5・07ですが、2000年は5・36、2010年は5・20、2018年は約5・29と、1990年より増加しています。このことから、(⑩)には「一ヘクタールあたりの米の生産量」、あるいは「單位面積あたりの米の生産量」などと書くときよいでしょう。

問九

C1 情報を獲得する 理由 比較 置き換え 具体・抽象

もし米づくりをするとしたら、消費者が求める米をつくるためにどんな取り組みをしようと思うか、理由とともに答える問題です。

ある消費者は値段が高くても農薬や化学肥料を使用していない米を買いたいと思うかもしれません。また、他の消費者は食感や味がすぐれている米を求めているかもしれません。あなたが米づくりをするなら、どんな取り組みをしようと思うか、またそう考えるのはなぜかをわかりやすく説明しましょう。

この問題では、①あなたが米づくりをするならどんな取り組みをしようと思うかが書かれているかどうか、②①の理由が書かれているかどうか、③①、②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問 2 ② 自分の意見を記述する問題

C2 情報を獲得する 理由 比較 置き換え 推論

筆者が文章中で述べている「同調圧力」についてあなたの意見を述べる問題です。

第一段落では、「同調圧力」について文章中に書かれた筆者の考えをまとめます。

「同調圧力」については、文章の終わりの部分に書かれています。「本当は幸せになるための『友だち』や『親しさ』のほずなのに、その存在が逆に自分を息苦しくしたり、相手も息苦しくなっていたりするような、妙な関係が生まれてしまうことがあるのです。」という部分を利用してまとめるとよいでしょう。

第二段落では、第一段落で答えたことをふまえて「同調圧力」が人間関係に及ぼす影響について、あなたの考えを書きます。たとえば、同調圧力があると、少数の意見が尊重されにくい、といったことが考えられるかもしれません。

第三段落では、第二段落で答えたことをふまえて、身の周りで「同調圧力」がおきた時にあなたはどういう行動をとるか、あなたの考えを書きます。たとえば、同調圧力によって人間関係がぎくしゃくしやうになつた時は、おたがいの考えを知るために話し合いの場を設ける、といったことが考えられます。自分なりにどのように行動するかを考えて書きましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落について

① 「同調圧力」とはどのようなものかという筆者の考えがまとめられているか

② ①の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

いか

第二段落について

③ 第一段落をふまえて「同調圧力」が人間関係に及ぼす影響について自分の考えが書かれているか

④ ③の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第三段落について

⑤ 第二段落で答えたことをふまえて、身の周りで「同調圧力」がおきた時にどのような行動をとるか、自分の考えが書かれているか。

⑥ ⑤の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

全体について

⑦ ①～⑥が一点以上合っている上で以下の⑦～⑩を見ます。ただし、字数指定を守らない場合、採点対象となりません。

⑧ 段落が問題の指示に従って分けられているか

⑨ 答案用紙の使い方が正しいか

⑩ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか

⑪ 字数制限が守られているか